

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことをよく理解したうえで訪問に伺うことができます	放課後等デイサービスや児童発達支援を行う事業所と連携し、よりよい支援を行うために情報共有の場を設定しています。	更に充実を図るために、情報を共有するだけでなく、同じベクトルで支援を行っていくための見立てを行い、支援のベースを合わせていくことで、よりよい支援につなげていきます。
2	授業の中でも子ども達の特性に合わせ個別に対応できます	担任の先生と相談をし、個別の対応ができるように打ち合わせを行っています。また、先生方からの見立てをいただき、必要と思われる授業に訪問をさせていただいています。	時間的に厳しいですが、授業後の時間にすぐにカンファレンスを行い、素早いフィードバックができるようにしていきます。
3	各場所で違った様子を見せることも達の学校での状況をお伝えすることができます。	ご家庭、学校、事業所など、それぞれの場所で違った顔を見せるため、一番長い時間を過ごしている学校での様子を、先生サイドではない角度から見立てを行い、報告しています。	学校での様子を通所事業所にも共有をし、療育にも繋げていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家庭や学校との情報の共有を密に行えていない	報告書を使い報告は行わせていただくもの、お時間をいただいで支援内容に関する検討などを行えていない	子ども達にとっていい支援を行うために、学校の担任の先生方にお時間をいただき、共有すべきこと、教室内の支援のあり方などを話し合い、できることの幅を広げていきます。
2	保育所等訪問支援の訪問回数が多く、子ども達がそわそわしてしまい、子ども達や学校の負担が大きい	支援が必要な子どもが多く、事業所もいくつかあり、毎日、毎時間のように訪問支援員が学校に入っていて負担に感じられているのではないかと。	担任の先生との時間の調整方法を相談させていただきながら負担がないように変更したり、支援の仕方や内容を授業環境に寄り添ったものにしていきます。
3	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが見えなくなってしまうことがあります。	授業参観のように、訪問に来ることで緊張し、普段通りの様子が隠されてしまう場合があることが課題です。	回数を重ねて慣れていってもらうことで、日常の授業と変わらない状況を見せてもらえるようにしていきます。